

抗 EID1 抗体, モノクローン (# 2)

71-190 100 µg

EID1 (EP300 interacting inhibitor of differentiation 1) は 21 kDa のタンパク質で RB1 及び EP300 タンパク質と結合して MYOD1 遺伝子の転写のレプレッサーとして機能する。**EID1** は EP300/CBP のヒストンアセチルトランスフェラーゼ活性を阻害する。**EID1** は細胞周期の進行の終了と細胞分化に必要な遺伝子の転写制御をカップルさせる機能に関与していると考えられている。

マウスハイブリドーマ (クローン # 2) を無血清培地で培養し、弊社独自の方法でマイルドな条件で IgG を精製した。

用途:

- 1) ウェスタンブロッティング (~1 ug/ml)
 - 2) ELISA
- 他の用途は試されていない。

免疫原: ヒト EID1 タンパク質のアミノ酸 1-19 を含む合成ペプチド

反応特異性: ヒト EID1 タンパク質。他の種は試されていない。

アイソタイプ: マウス IgG2a (κ)

形状: 精製 IgG 1mg/ml in PBS (pH 7.4), 50% glycerol, ろ過滅菌

保存: 4°C で輸送、-20°C で保存

データリンク: Swiss-Prot [Q9Y6B2](#)

文献:

1. MacLellan WR *et al* "A novel Rb- and p300-binding protein inhibits transactivation by MyoD." *Mol Cell Biol* **20**:8903-8915 (2000) PMID: [11073990](#)
2. Nguyen DX *et al* "Acetylation regulates the differentiation-specific functions of the retinoblastoma protein." *EMBO J* **23**: 1609-1618 (2004) PMID: [15044952](#)

図 モノクローナル抗体#2 を用いたウェスタンブロッティングによる EID1 タンパク質の検出

コントロールベクター-pCMV1 (lane 1)、または EID1 発現ベクター-pcDNA3/EID1 (lane 2) をトランスフェクションした MCF7 (breast cancer cell line) 細胞粗抽出液で抗 EID1 抗体クローン #2 を 1 次抗体として、HRP 結合マウス IgG を 2 次抗体として用いたウェスタンブロッティングを行った。EID1 タンパク質は 21 kDa のタンパク質バンドとして検出された (矢印)。



関連製品 # [71-185](#) anti-EID1 antibody, monoclonal (# 26)

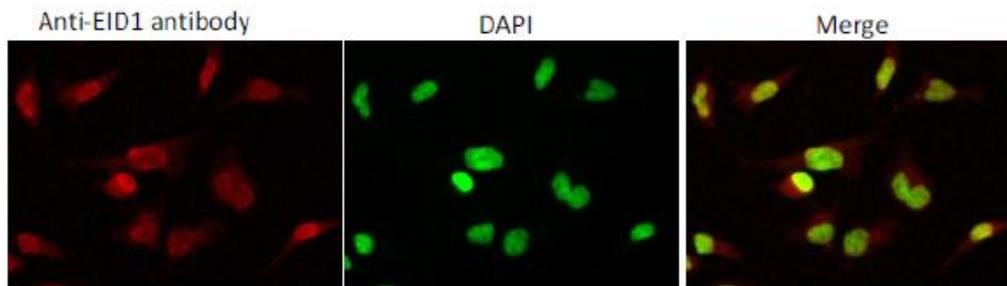


図2. 抗 EID1 抗体 (#2) を用いた関節免疫蛍光染色による HeLa 細胞中の EID1 タンパク質の同定

細胞は 4% paraformaldehyde で固定し、0.25% Triton X-100 で透過処理をした。抗 EID1 抗体は 1/1,000 希釈で使用。二次抗体は Alex 488 で標識したヤギ抗ウサギ IgG 抗体を 1/1,000 希釈して用いた。

DNA は DAPI で染めた。EID1 タンパク質は主として核に局在している。